

No.129

令和4年
9月定例会
2022

みよた 議会 だより



美味しい人参
たくさん採れた♪



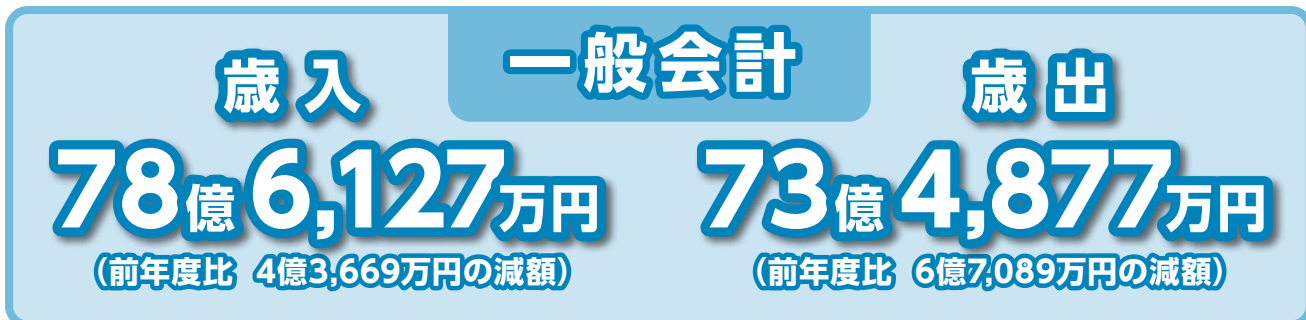
主な内容

令和3年度決算	P2~5
一般会計補正予算	P6~7
町のここが、気になる	P10~18
研修報告	P19



令和3年度みよたの決算

9月定例会は9月2日に召集され、14日までの13日間の会期で開催されました。条例案1件、決算の認定11件、補正予算案10件、議決案1件、報告事項1件の計24件で町側から提出された議案24件を原案どおり承認・可決しており、この議案の中から、議員による質疑とともに、注目事業をピックアップしました。



歳入は、令和2年度実施の特別定額給付金事業費補助金15億7,790万円の減少などにより、全体で減額となっている。

歳出は、特別定額給付金事業費の皆減から14億1,743万円の減少、令和元年東日本台風災害及び令和2年8月豪雨災害による復旧工事の完了から、災害復旧費で1億4,326万円の減少などにより歳出全体も減額となった。

松くい虫被害木の駆除

217万円 (歳入金額)

森林づくり推進支援金 66万7千円
森林病虫害等防除事業補助金 150万9千円

松くい虫防除を適宜進めた。

保全すべき松林
薬剤による防除や、被害木等の伐倒駆除により、的確な防除を行う松林

周辺松林
保全すべき松林と一体的な防除を行いつつ、主として計画的な樹種転換(広葉樹等への植え替え)を実施する

問 森林づくり推進支援金と森林病虫害等防除事業補助金とは。

答 両方とも松くい虫被害木の駆除事業となる。事業の違いは、森林病虫害等防除事業補助金は森林を守るために実施し、林班内の駆除にしか使えない。一方、森林づくり推進支援金は林班外の駆除が必要な赤松について使用できる。

特別会計

国民健康保険

歳入 16億8,849万円
歳出 15億7,332万円

介護保健

歳入 11億3,608万円
歳出 10億8,022万円

公共下水道

歳入 7億9,320万円
歳出 7億8,858万円

他に、7つの特別会計などがあります。

農地の維持保全

894
万円

多面的機能支払交付金事業

令和3年度に3地区で活動が始まり、4年度は2地区が追加となった。



問

活動実績の内容と事業効果は。また今後、新たに参加する団体の見通しは。

答

令和3年度に実施した地区は、塩野地区、馬瀬口地区、草越地区の3地区である。この活動によって、施設の長寿命化や農地保全の意識向上につながり、令和4年度は、豊昇・地藏河原地区、児玉・城ノ内地区の2団体が新たに活動を始めた。

道路や橋梁の工事

1億3,888
万円

道路維持補修工事費 6,295万円

道路改良舗装工事費 3,328万円

橋梁修繕事業経費 4,265万円

道路工事は90件、橋梁修繕は3橋実施した。



問

実施された工事は。

答

道路維持補修工事は85件、道路改良舗装工事は5件、橋梁修繕事業は3橋実施した。橋梁の整備率は80%となった。

農地パトロールの効率化

212
万円

農地台帳システム委託料

タブレットを活用し、農地パトロールの効率化を図った。



問

農業委員会で導入したタブレットの使用方法は。

答

タブレットを利用して、農業委員と事務局で農地パトロールを実施した。タブレット上で、地番・地主・耕作者などの情報が瞬時に閲覧でき、パトロール結果のまとめも容易にできる。

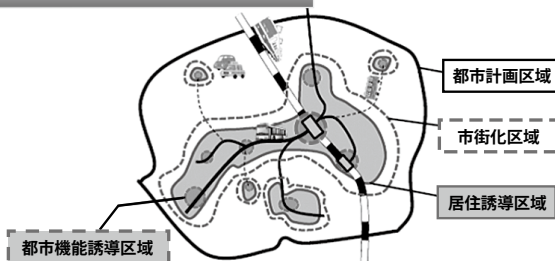
立地適正化計画の策定

709
万円

立地適正化計画策定業務委託料

計画策定のため迎えた外部アドバイザーは4名である。

立地適正化計画制度のイメージ図



問

外部アドバイザーとは。

答

4名は都市計画に詳しい方で信州大学の教授、県の担当課長、民間の交通機関の役員らで構成され、今後の町づくりに対して意見をいただいている。立地適正化計画は来年の3月末に公表する予定である。

※記載の金額は歳出で、千円以下切捨てです。

地域福祉計画 の策定

97
万円

地域福祉計画策定委託料

平成30年の社会福祉法の一部改正により策定が努力義務となっている。



問 計画策定にあたり、何を委託したのか。また、計画策定の進捗状況は。

答 アンケート調査の実施について委託をした。進捗状況は骨子案を作成しており、年度内の策定に向けて作業を進めている。

保育園児の 登園管理

68
万円

登園システム利用料

登園状況がパソコン画面上で一括管理できる。



問 町内保育園の登園管理の仕組みは。

答 町の保育園では、園児ごとにICカードを用意して、保護者が登園時と退園時に機械にかざすことで、登園状況をシステムで管理する。登園状況はパソコン画面上で一括管理できるため、登園しているか登園していないか、休みの予定などが色分けで表示され一目でわかる。

町外通園に 対する委託料

645
万円

広域保育委託料

町外へ通園する園児に対し多方面へ委託した。



問 人数とその委託料にかかる財源の内訳は。

答 佐久市へ7人、小諸市へ1人、軽井沢町へ5人、佐久穂町に1人、島根県浜田市へ1人の合計15人の広域保育を委託している。財源としては、国から39万7千円、県から19万8千円が充当されており、そのほかは、一般財源からの支出となっている。

子育て応援 ヘルパー

18
万円

子育て応援ヘルパー事業

1歳未満のお子さんのおいる保護者の方にヘルパーを派遣した。



問 子育て応援ヘルパーは何人程度の利用があったか。

答 令和3年は、3名で60時間の利用である。令和2年は、5名で24時間の利用であった。利用者は、1～2カ月の利用や6～7カ月利用の人が多く、最大12カ月使える。

※記載の金額は歳出で、千円以下切捨てです。

防災備蓄品の 整備

366
万円

災害対策一般経費消耗品費

手回しラジオや避難ルームテント、紙おむつ、食料品等を購入した。



問 防災備蓄品は何名分ほど確保するのか。

答 全人口の5%程度の3日分を備えていきたいと考えている。

問 当初予算と比較すると決算額が120万円ほど少ないが、理由は。

答 昨年、県の防災担当者と意見交換する場があり、食料品は令和元年の東日本台風では外部からの提供が多く、比較的確保しやすい状況があったということから、食料品は若干おさえて購入した。

問 賞味期限を迎える食料品はどのようにしているのか。

答 フードバンクや学校給食に提供している。また、防災訓練においても配布をしており、廃棄をすることはない。

※記載の金額は歳出で、千円以下切捨てです。

中学校の 部活動指導員

42
万円

部活動指導員報酬

中学校の部活動において部活動指導員が指導をした。



問 指導員報酬の内容と、部活の地域移行の進捗状況は。

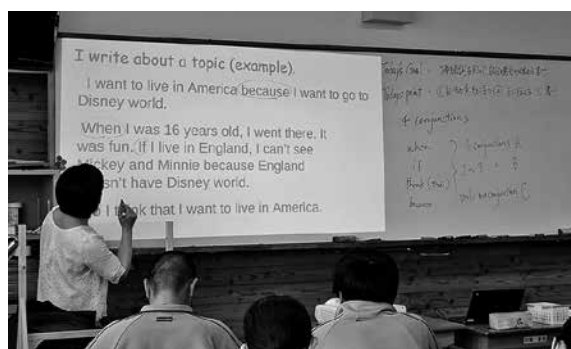
答 男子バレー部と美術部で会計年度任用職員の方が指導にあたり、県の補助金を活用している。地域移行については検討委員会が立ち上っており、学校・保護者・地域など関係する皆さんと引き続き検討し進めていく。

デジタル教科書 の導入

110
万円

中学校教育振興経費消耗品費

中学校で指導者用デジタル教科書を導入した。



問 どの教科でデジタル教科書を導入したのか。またデジタル教科書と紙の教科書の併用の今後の方針は。

答 中学校では指導者用として国語、数学、理科、社会、英語の5教科である。現在は紙の教科書を併用しているが、最終的にはデジタル教科書への完全移行が目標となっている。

マイナンバー カードの 普及促進

218
万円

個人番号カード交付事務経費

さらなる普及促進のため、10月より実施する。



問

専用係の具体的な業務内容は。

答

10月から、町民課内に専用の係を設け、係長1名、会計年度任用職員2名の体制で普及促進をする。現在、月2回の時間外開庁を実施していたが、それを月3回に拡大する。合わせて、月1回、最終土曜日の休日開庁を実施していたが、これからは月2回に拡大する。

check!

令和4年度 一般会計補正予算

補正予算とは、3月議会で成立した当初予算に加え、自然災害などや著しい社会情勢の変化など、予見し難い事態に対応するために作成される予算です。各委員会や議案質疑にて、議員から出された質疑とともに注目事業をピックアップしました。

新規就農者 支援

375
万円

新規就農者育成総合対策経営発展支援事業

現行制度を利用して農業に従事している方は8名で、本年度は1名である。



問

事業内容と対象者は何名か。

答

支援制度が変更になり、年間最大150万円で、給付期間がこれまでの5年間から3年間に変更となった。本事業は、新規就農者の経営発展に必要な機械、施設の導入に関わる費用に対して補助するものであり、補助額は国が最大250万円、県が最大125万円である。

荒町公園の 整備

440
万円

荒町公園整備測量設計委託料

荒町公園の改修及びごみ集積場の移転に伴う測量及び設計を実施する。



問

公園内や駐車場の改修などの測量設計の内容は。

答

平成8年10月まで、久保沢一般廃棄物最終処分場として使用した。平成12年には周囲をフェンスで囲む工事を行い、休止の状態となった。平成18年12月に荒町公園として整備し、今般、区から、区民の憩いの場としての公園の改修と、ごみ集積場の移転の要望があり、荒町公園の整備をすることにした。

※記載の金額は歳出で、千円以下切捨てです。

駅前の 道路整備

1,192
万円

調査測量設計委託料

駅前の道路改良のため、測量設計を委託する。



問

駅前のやまいし(株)工場跡地は道路用地として利用する考えはあるか。

答

道路改良計画があり、今年度から地権者の方と協議している。測量設計により、道路改良に必要な面積を割り出して、今後の用地購入に繋げていく予定である。

テイクアウト 割引を延長

560
万円

テイクアウト事業応援補助金

テイクアウト割引を令和5年3月31日まで延長する。



問

事業内容と店舗数は。

答

これまで同様に商品価格の30%を補助する。現在の店舗数は16店舗で、今年度に入り、7月から1店舗増えた。引き続き、このテイクアウト事業への参加事業者を取り入れていきたい。

※記載の金額は歳出で、千円以下切捨てです。

御代田町議会



1日目①



1日目②



最終日

YouTube 2次元コード

動画 配信中!



9月18日、マ
ンローウオーク
の会のイベント
で人参収穫体験
が開催されてい
た。
当日は、雨も
上がり、児玉の
畑には、家族で
の参加が多く大
きな人参を抜き
当てると、子ど
もたちの歓喜の
声や笑顔があふ
れていた。
このイベント
は、御代田町ふ
るさと納税住民
活動事業支援金
で運営されてい
る。

表紙の写真

議員発議

小園拓志町長の行政運営の責任を問う決議案について

市村千恵子議員他1名より提出

小園拓志町長の行政運営の責任を問う決議(案) に対する趣旨説明

旧役場庁舎跡地の賃貸問題では、決裁文書がなく、日本財団の助成金申請の協力届出書を町長が独断で公文書を作成し、公印取扱者の承認も得ずに無断で職員に押印させ、使用記録も残していなかったことは、御代田町公印規則に違反している。またデザイナーサイト「ふるさと未来設計室」では契約前に面会した事業者を含む2者を指名参加者に追加することを町長自ら指示し、2者から見積もりを取り、そのうちの1者と随意契約を交わした。

こうした町長の行政運営で、精神的に追い込まれ、療養休暇をした職員も少なくなく、町長の独断専行を許すことにつながることから看過できない。

町長には、自らの責任を明らかにすることを強く望むものである。

賛否一覽

議員名簿 議案名等	出席者数	賛成	反対	退席	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
						尾関 充紗	内堀 綾子	森泉 謙夫	黒岩 旭	赤田 憲子	中山 温夫	山浦 久人	内堀喜代志	池田 るみ	茂木 重幸	小井土 哲雄	市村千恵子	荻原 謙一	五味 高明
小園拓志町長の行政運営の責任を問う決議案について	14	2	11	0	否	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	-

*可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、同…同意、採…採択
*議長は採決に加わりませんので、「-」で表示します。(議長 14番 五味 高明)

選挙管理委員、補充員決まる 委員長に砂連尾氏

【補充員】

堀 幸子 氏(清万)
内堀 友子 氏(塩野)

市川 仁吉 氏(荒町)
高田 直美 氏(向原)



市川 清 氏(平和台)



砂連尾 佳司 氏(栄町)



霜田 修司 氏(馬瀬口)



水谷 誠子 氏(向原)

10月6日付けで任期満了になる選挙管理委員及び補充員の選挙は、定例会最終日の9月14日に行われ、議長による指名推選により、次の方々が当選された。
任期は2026年10月6日までの4年間。
委員長に砂連尾氏、職務代理に市川氏が選出された。

条例の改正等

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案について

上位法令等の改正により所要の改正をするもの

予算・決算

令和3年度御代田町一般会計・各特別会計決算の認定について

質疑・委員会審査2～5ページ

令和4年度御代田町一般会計・各特別会計補正予算案について

質疑・委員会審査6～7ページ

その他

令和3年度御代田町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

財政健全化法に基づく諸数値の報告

※小園拓志町長の行政運営の責任を問う決議案について

趣旨・賛否一覧8ページ

監査報告(抜粋)

監査委員

井田 理恵

小井土哲雄

令和三年度決算審査の結論は

「正確かつ適正であると認めた」

【決算審査の所感】

職場環境の整備について、ハラスメント防止対策として、研修の機会を増やし庁内挙げて研鑽を重ねており意識変革が現れていると良好な報告を得ています。一層の人権意識向上に務められることを期待します。

管理者は、複眼的視点とされる「鳥の眼」を持ち全体を俯瞰し、「虫の眼」を持ち個々への意識を巡らせ、「魚の眼」を持ち流れを捉えて労務管理と職務に励まれるよう、課員も準ずる意識で臨まれるように願います。日々

の声掛けから始まるコミュニケーションを大事にし、活力ある行政職務の場を皆で創造されることを期待します。

生産性と財産の保全

について、「切手でふるさと納税」は、保全管理に課題が生じていると認めため、可能な限り早急な制度設計の見直しを期待します。

情報開示と説明責任

については必要あらば至るプロセスを説明し納得される根拠資料を開示する事、その機会を設けることです。住民へ理解されるよう段取りと事務作業に欠損は無いが検証しつつ丁寧

に進めていくことで町民益に繋がる成果を導くことと期待します。

公営企業会計について

例えば、資産の中の貯蔵品は「費用」として計上するものと「資産」として振り替えるものに分かれます。この処理が適正に行われているかは、期末のたな卸しから在庫を把握することで確認ができます。

科目の意味を正しく理解することで正確な経理処理に繋がることとなりますので、知識の共有を図り一貫した決算処理が行われることが肝要であります。

9月定例会

「町の1111人が、気になる」



8人の議員が
質問しました

一般質問Q&A

一般質問とは、議員が町の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町に求め、適切な町政運営を進めているか議員がチェックするものです。
この議会日より、○の項目を議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。

●内堀 綾子 …………… 11

◎町長が共感した住民運動の

町政への反映について

◎ふるさと納税について

◎ふるさと大使について

・町公式サイトの運用と

取り組みについて

●森泉 謙夫 …………… 12

◎コロナ禍をはじめとした世論と行政

●尾関 充紗 …………… 13

・町公式ホームページの

管理・運営状況について

◎令和4・5年度御代田町職員採用と、

今後の職員採用計画について

●荻原 謙一 …………… 14

◎令和3年度決算状況について

●池田 るみ …………… 15

◎町民の健康を守る

ワクチン接種について

◎公立保育園の使用済み

おもむつの持ち帰りについて

●市村 千恵子 …………… 16

◎町長の行政運営について

●内堀 喜代志 …………… 17

◎令和3年度決算について

●赤田 憲子 …………… 18

◎小中学生の現在の学力及び

学力向上について

・コロナ禍における

二十歳を祝う会について



内堀 綾子 議員

「子どもの未来を応援する住民運動」活動の趣旨は いち参加者でつぶやには理解していない



YouTube 2次元コード

問 町長は『子ども
の未来を応援す
る住民運動』に共感し
て、御代田町に移住し
たとあったが、活動の
主体となった方々は、
また、町長が共感した
この活動の趣旨は。

答 町長 私はいち
参加者であり、
つぶさには理解してい
ない。多くの町民の皆
さんが携わり、署名運
動などをされたと承知
している。

問 1千200人の署
名を集めたとお
る。具体的な内容は。

答 町長 趣旨が分
からない。お答
えしかねる。

問 署名頂いた方の
声がどのようにに
町政に反映されたか。
また、現在の活動状況
は。

答 町長 対話をヒ
ントとし、各種

の施策を組み立てて来
ている。また、町長に
なって、すぐ退会した。
その後の状況は、私
の承知するところでは
ない。

と返礼品などの経費
額は。

ふるさと納税の経費総額は

2億1千652万5千401円である

問 令和3年度ふる
さと納税委託料

答 企画財政課
長 経費総
額は2億1千652万
5千401円である。

問 切手でふる
さと納税に
ついて、受託業者
は、町長の選挙前
からの付き合いの
ある方だが、この
委託について、町
長はどのようにに
関わりをもったか。

答 企画財政課
長 経費総
額は2億1千652万
5千401円である。

問 滋賀の業者であ
り、御代田町か
らこの業者をすぐに探
すのは無理だと思っ
た。町長の知り合いだが、
町長から話はされたの
か。

答 町長 切手の鑑
定という特殊性
の高い業務であり、こ
ういったことができる
事業者が近隣に乏しい
ことから、町の財務規
則に基づき、探索した
結果、現在の事業者に
お願いした。

答 町長 私から特
に言っていない。
町からふるさと
大使に送られた
指輪と写真立ては公費
支出か。この2つは同
じ箱で送られているか。

答 企画財政課長
写真立ては公費
であり、指輪は公費で
はない。

答 企画財政課の職員が
写真立てやメッセージ
カードを送送する前に
町長に確認した際、町
長が宝飾店から、ふる
さと大使を応援したい
と預かった贈り物を他
の物と一緒に梱包し、
所属事務所宛てに発送
した。

令和3年度 御代田町ふるさと納税 実績報告
～全国の皆さまからたくさんのご寄附をいただきました～

問い合わせ先 企画財政課企画係 (32) 3112

寄附件数: 9,304件 寄附金額: 4億 9,487万 3,763円
(返礼品発送などの経費を除いた実際に使える金額 2億 7,118万 9,599円)

令和2年度ふるさと納税の実績 寄附件数: 4,397件 寄附金額: 2億 3,313万 1,151円

令和3年度活用事業

ジャンル	事業名	内容	金額
住 民 活 動	ミヨタのデザインプロジェクト	ワークショップ及びSNSで町の魅力発信	333,000円
住 民 活 動	みなとりウォーク	ポールウォーキングと農作物収穫のイベント	360,000円
住 民 活 動	生活習慣改善普及公開事業	高齢者向けのストレッチ教室の開催	500,000円
子 育 て	東原児童館遊具等購入費		1,525,000円
子 育 て	大林児童館遊具等購入費		2,095,000円
子 育 て	やまゆり保育園遊具等購入費		242,000円
福 祉	障がい者合同販売会開催事業	合同販売会用の備品整備	43,000円
高 齢 者 福 祉	免許返納者へのタクシー券交付	免許返納者へタクシー券交付	1,861,000円
防 災	防災備蓄品整備事業	災害時の防災備蓄品整備	2,469,000円
教 育	調べ学習のための図書購入事業	小・中学校、町立図書館で実施	2,682,000円
観 光	みよたんノベルティグッズ制作事業	みよたんボールペン制作	150,000円
道 路 整 備	グリーンベルト整備		1,800,000円
環 境 整 備	公共施設LED化事業	町内10箇所の公共施設をLED化	4,191,000円
子 育 て 支 援	乳幼児の本当の出会い事業	10ヶ月検診時に絵本プレゼント	109,000円
災 害 支 援	トonga王国災害復興支援		8,394,494円
災 害 支 援	佐賀県武雄市災害復興支援		392,574円
		合 計	27,147,068円

令和4年度以降活用事業(充当先)

ジャンル	事業名	内容	金額
公 園 整 備	未来へつなぐ応援事業	養護施設入所児童へ小・中学校入学時に給付金支給	250,000円
防 災	消防団員報酬	消防団員報酬アップ	8,707,000円
道 路 整 備	グリーンベルト整備		2,520,000円
公 園 整 備	御代田町公園施設等整備基金	公園遊具の更新のための基金	40,000,000円
子 育 て 支 援	令和4年度小中学校給食費無償化事業		35,000,000円
子 育 て 支 援	ふるさと創生基金積立金		157,565,531円
		合 計	244,042,531円

広報やまゆり8月号より



森泉 謙夫 議員

町民との対話を増やすことが大事と考えるが 対話は重要で苦情にもヒントがある



YouTube 2次元コード



役場庁舎

問 最近、町長と町民の会話が聞こえているという声がある。町民の皆さん

の意見を活かしていくこと、対話を増やしていくことが大事だと考へるが、町長は。

答 町長 対話は極めて重要である。いわゆる苦情にも町政へのヒントがあるので、今後対話の場面を増やしていく。お気軽にご連絡いただきたい。

問 小園町長と3年半ほどの間に給食費無償化などの実績を作った。今年度は町単独公共工事予算3億円など全てが町民の意思表示の結果であり、町民の皆さんへと還元されているのではと思うが、町長の意見は。

答 町長 具体的事業への財源の裏付けを重視してきた。

公約発表時は財源不足で、できないのではなかつた。しかしいつかとの声もあつた。ふるさと納税が財源になると伝えたが批判もあつた。しかし一時的な財源でも基金に積み、現在は事業の長期的継続を約束できる状態となつている。

問 最近、SNS上には強い侮辱する内容のものがあるが具体的な考え、動きは。

答 町長 私や役場が被害に遭つている現状がある。看過できないケースは既に弁護士に預け、名誉毀損罪で刑事告訴の準備を進めている。佐久警察署には侮辱罪捜査の相談をしている。

問 7月に侮辱罪が厳罰化となつたが誹謗中傷、侮辱に対する町の考えは。

答 町長 長野市や佐久市などには広報広聴課がある。役場は住民の声を等しく聞くことが得意ではなかつたように思う。広聴の機能を大幅に充実させることが大事で、その仕組みの構築が重要と考えている。

問 7月に侮辱罪が厳罰化となつたが誹謗中傷、侮辱に対する町の考えは。

答 総務課長 各種相談窓口にもスムーズに紹介できる仕組みづくりや法的手続に係る弁護士費用の助成を検討していく。

問 7月に侮辱罪が厳罰化となつたが誹謗中傷、侮辱に対する町の考えは。

答 町長 長野市や佐久市などには広報広聴課がある。役場は住民の声を等しく聞くことが得意ではなかつたように思う。広聴の機能を大幅に充実させることが大事で、その仕組みの構築が重要と考えている。

問 7月に侮辱罪が厳罰化となつたが誹謗中傷、侮辱に対する町の考えは。

答 総務課長 各種相談窓口にもスムーズに紹介できる仕組みづくりや法的手続に係る弁護士費用の助成を検討していく。



尾関 充紗 議員

外部委託による行政事務の効率化は必要 課題解決に向け一部業務の民間委託は



YouTube 2次元コード

問 令和4年・5年度職員採用について、各応募者数は。

答 総務課長 令和4年10月採用の応募状況は計8名、保育士の応募は1名であった。

問 令和5年4月採用の応募状況は、新卒等の対象は一般事務16名、保育士1名、上級土木技師1名の合計18名であり、社会人対象は、一般事務18名、保育士2名、土木技師1名の合計21名で、新卒等とあわせ合計39名の応募があった。

答 減は。総務課長 平成30年度が38名、令和元年度32名、令和2年度16名、令和3年度17名となっており、今回が39名となっている。

問 理想とする正職員数と現在の正職員数は。

答 総務課長 当町御代田町職員定数条例第2条により、170名と定められており、令和4年4月1日現在の職員数は154名となっている。

② 目指すべき姿

職員一人ひとりが能力を最大限に発揮し、活力ある組織により町民に期待と信頼される人材が育成される状態

指標	現状(R1年度)	目標(R7年度)
職員研修の年間実施回数(R1)	32回	35回
正規職員数	148人	156人
会計年度任用職員数(事務的補助)	8人	0人

第5次御代田町長期振興計画に記載された職員数の指標

する職員数と比べて少ない状況であると言える。

問 このような現状の課題を早急に解決するには、今後、一部の業務を民間に委託していくことが方法の一つかと思うが、どうか。

答 総務課長 行政サービスの適性の観点からも、民間で実施できる事業や専門性が高く民間のほうが効率的に実施できる事業等については、外部委託による行政事務の効率化は必要であると考えている。

また、必要である業務は、実施計画に計上をし、計画的に進めていく必要があるため、



企画財政課のヒアリングの中で協議していきたい。



荻原 謙一 議員

ふるさと納税事業は

前年度比2億6千174万円の収入増

一般質問



YouTube 2次元コード

問 令和3年度決算状況の主な事業の成果と課題は。

答 企画財政課長

令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策及び経済対策に関する事業を最優先とし、必要な事業を適宜実施した。保健福祉課は、国の動向に併せて、その都度迅速な予算措置により、新型コロナウイルススワクチン接種事業を実施した。接種件数は1回目1万3千42件、2回目1万2千962件、3回目7千47件、小児スワクチン接種1回目が135件で

合計3万3千186件を実施した。

令和4年度は、4回目接種を実施中であり、引き続き対象者が速やかに受けられるように対応している。

企画財政課は、ふるさと納税事業について、納税寄附金額は4億9千487円（切手でふるさと納税を含む）で、前年度比2億6千174万円の増となった。返礼品の事業者数は36事業者となり、ひらまつ（宿泊券、ヤッホーブルーイングのビールなど）新たな返礼品を追加することができたために収入増となった。

寄附金の増収は、町の財政運営にあり、とても貴重な財源となっている。

令和4年度も牛肉など新たな返礼品を追加しており、今後さらに新たな返礼品の展開に取り組むとともに、既存の返礼品のPRを行い、事業を継続する。



「ひらまつ」の宿泊



「ヤッホーブルーイング」のビール

人気上位の返礼品

問 町長としての評価と課題は。

答 町長

令和2年度に引き続いて、新型コロナウイルスに明け暮れた部分が大きいと思う。それらには町として全力で対応できてきたと自負している。一方、その分、元々頭に描いていたことが進んできていない部分もあると考える。

ている。それが課題かなと思っている。

歳入増のおかげで、予算の自由度も増えているところでもある。

今年度から、町単独で年間3億円をかけて道路の改良修繕に力をいれている。今後さらに、子育て、教育、高齢者福祉、全年代的な町民の健康増進など、柱に据えるべきテーマで何ができるか、ここから詰めていく考えている。



池田 るみ 議員

帯状疱疹ワクチン接種費用助成の考えは 国の動向を注視していきたい



YouTube 2次元コード

問 帯状疱疹ワクチンの効果をどのように考えられているのか。

答 保健福祉課長 厚労省の資料等を見ると発症率を低減させ、重症化を防ぐ効果がうたわれている。一定の効果があり、有効であると認識している。

問 帯状疱疹ワクチン接種費用の助成の考えは。

答 保健福祉課長 厚生科学審議会です定期接種化に向けて検討が進められている。現時点では、町独自の施策として任意接種

の助成は考えていない。今後も、国の動向を注視していきたい。

問 インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行に備えて、本年度も引き続き、小中学生へインフルエンザ予防接種費用の補助の考えはあるか。

答 保健福祉課長 コロナ第7波や今後の感染状況に依りて、適切に判断していきたいと考えている。

問 ワクチン接種の記録をするワクチン手帳の作成と配布の考えは。

答 保健福祉課長 ワクチン手帳は、さまざまな市販品がある。

また、国立感染症研究所が作成した成人用予防接種記録手帳のようにホーム



ページから印刷できるものもある。接種記録の管理は各自が行うものであり、町として作成、配布の予定はない。

問 おむつの持ち帰りについてメリットとデメリットは。

答 町民課長 メリットは、お子さんの健康状態を把握できること、保育園で使用した分のおむつを翌日補充できることが容易となることである。

使用済み紙おむつを園で廃棄する考えは

近隣市町村の動向や状況を勘案し検討

問 公立保育園では、保護者が使用済

み紙おむつを持ち帰っているが理由は。

答 町民課長 排便の回数など

園児の健康を確認してもらうことを最大の目的としている。

問 おむつの持ち帰りについてメリットとデメリットは。

答 町民課長 メリットは、お子さんの健康状態を把握できること、保育園で使用した分のおむつを翌日補充できることが容易となることである。

デメリットは、保護者の皆さんにとってごみの量が増えることと考える。

問 衛生面や保育士、保護者の負担軽減へ向け、使用済み紙

おむつを園での廃棄に切り替える考えは。

答 町民課長 近隣市町村の動向やさまざま状況を勘案して検討していきたい。



週末の持ち帰り風景



市村千恵子 議員

公印規則違反の認識は

今後は適宜的確に行政運営を進めたい



YouTube 2次元コード

問 日本財団への子ども第三の居場所づくりコミュニティ事業申請は、町の協力が

答 町長 本届出は、4月30日に私が一般社団法人御代田の根の方にお渡しした。担当課のほうから順々に上げていく決裁文書はあるのか。

答 総務課長 決裁文書は存在してない。

問 決裁文書がないのは、職員は事業の内容すらも知らずにいたということか。

答 総務課長 知らなかったということになる。

問 決裁文書がないのは、通常業務であり得るのか。

答 総務課長 通常ではあり得ない。

問 様式Bの申請書には、町長の名前で町長印も押されている。町長が公印を使って申請したということか。

答 総務課長 職員が町長から町長印を押すよう頼まれ、

押印をして書類を町長へ渡した。

問 御代田町公印規則の公印押印記録用紙はあるのか。

答 総務課長 記録は残っていない。

問 公印規則違反しているとの町長の認識は。

答 町長 ご指摘の点は何らかの違法行為をなしたというわけではない。拙速感があると思われたことは大変遺憾である。

今後、適宜的確に行政運営を進めていきたい。

問 御代田の根が行っている土壌改良などは、町の環境保全条例の届出が必要に

答 建設水道課長 敷地内処理ができる施設の設定及び御代田町環境保全条例の規定による開発行為届けを提出するよう指導していく。



貸し出した町有地

問 「ふるさと未

答 企画財政課長 こちらは追加で指名参加願いの申請を受

けたもので、2年に1回更新され、令和4年度が更新の年で、その前の2年間の申請については破棄しているの

問 2社追加は、町長からの指示か。

答 町長 業務の内容、緊急性の両面から、もとの登録事業者では遂行が困難だと考え、私から職員に対して追加することをお願いした。



内堀喜代志 議員

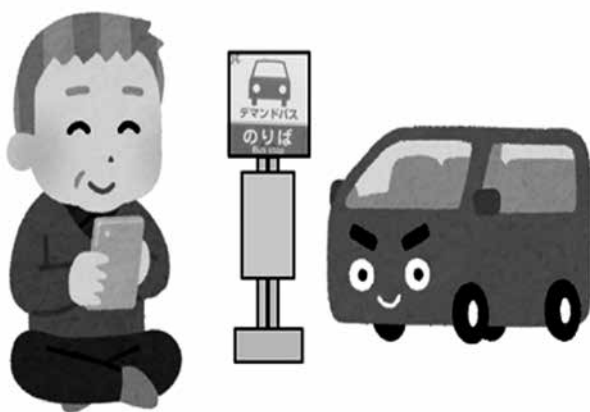
決算を振り返り町の今後の指針は 計画行政と継続的な行政改革を進める



YouTube 2次元コード

問 令和3年度決算の評価を踏まえて、令和5年度予算編成に生かすべき事項は。

答 町長 重視すべき施策は、子育て



近距離交通

で、教育施策、高齢者福祉、また、あらゆる年代層の健康維持・向上である。これまで、給食費の無償化、高校生への就学援助、公設塾の創設などを進めてきた。また、部活の地域化が大きなテーマであり、学校への行きづらさを抱えるお子さんたちを支える町独自で雇用した心理士の役割はますます大きくなってくる。

まず大きくなってくる。高齢者を含む幅広い世代の皆さんに町内の近距離交通をどのよう組み立てていくかも大変重要なことと考えている。

問 過去から現在までの町の決算を振り返り、町の状況と今後の指針をどのように考えるか。

答 内堀副町長 御代田町は、昭和31年に、小沼村、御代田村、伍賀村の3村が合併し、人口約8千人の町としてスタートした。

それから66年を経て、本年9月1日現在の住民基本台帳人口は1万6千251人で、約2倍になった。この間、公共施設などの統廃合などを実施し、小中学校や保育園の統合、複合文化施設エコールみよたの開館、御代田中学校の建替事業とあわせて学校給食の共同調理場の建設、役場庁舎の建設を行ってきた。

これらの改革が時間をかけて着実に実施されたことが、公共施設の合理的な廃止と健全財政に大きく貢献している。

令和3年度の普通交付税は14億9千875万円で、令和2年度と比較して3億8千321万円の増額となり、人口を基に算出する個別算定経費が前年度比2億7千万円の増加となっている。

健全な財政を持ち、先人の皆さんのたゆみない町政への尽力と思いにより成り立っている。それは、計画行政と

継続的な行政改革のたまものである。先人の皆さんの努力により築かれた御代田町がさらなる発展と福祉の増進が図られ、その結果として、人口増加につながるまちづくりをしていくことが、これからの私たちに課せられた課題である。



人口増加



赤田 憲子 議員

小中学生の全国学力テストにおける現在のレベルは 全国及び県平均を上回る高いレベルに達している



YouTube 2次元コード

問 全国学力テストの平均点は全国と比ぶどのレベルを維持しているのか。

答 教育長 2022年度現在、小中学校ともに実施全科で全国及び県平均を上回る状況にあり、かなり高いレベルに達していると考えている。

問 教育に対するビジョン、今後の方向性と取組は。

答 教育長 公設学習事業として2種類あり、ひとつは、小学4年～中学2年対象のステップアップ塾で、小学生は算数、中学生は数学か英語を無

料で学べる。

もうひとつは、中学

3年対象の夢サポート

塾で、受験に特化し、

家庭教師のトライグル

ープと提携委託して運

営している。数学と英

語をトライ専門講師か

ら学ぶことができ、初

年度は65名、2年度は

42名の参加者全員が志

望校に合格した。今年

度は58名が学んでいる。

アンケートで参加者

の88%が2教科ともに

得点力が伸びたと実感、

保護者の100%が満足、

ほぼ満足と回答、難関

高への合格者も増えて

いる。

今後今の方向を大

切に進めていく。

問題解決力、生きる

力育成として、図書

館を使った調べる学習

コンクールや、中学生

模擬議会を開催し、数

値で見える部分の学力

と人として生きる力に

相当する学力の両面を

総合的に備えた人間力

の育成を大事な方針と

している。



ステップアップ塾

問 小園町長の教育に対するビジョン、今後の方向性は。

答 町長 一生使える自習スキルを夢サポート塾を通じて身に付けて欲しい。それに加え、第一線で活躍する方との触れ合いは子供たちに少なからず良い影響を与えると考え、子供たちの目線で語る連続講座「14歳の君へ」の開催及び図書館機能充実、さらに自分たちの住む地域を知るための講座も考

えている。

夢を大きく持つ事が大切であり、そのための基礎学力向上や素敵

な大人との出会い、探究心をサポートする仕組み、地元への愛着を育てていく。

子供たちの良い育ちを実現していく事が大切だと考えている。



夢サポート塾

研修会報告

― 町村自治体の防災・減災対策と

災害時の議会議員の役割 ―

町村議会研修会 松本市・松本文化会館 令和4年7月14日

跡見学園女子大学教授の鍵屋一氏を講師にお迎えして研修会が開催された。

ユネスコ無形文化遺産『男鹿のなまはげ』を取り上げ、地域の伝統文化の意味と、それに伴う人や地域の繋がりが信頼の絆で『ご近所力』こそが『安全安心の源泉』と述べられた。

コロナ禍で、地域の行事も見直される中、防災の観点からも地域の大切さを学ぶ事ができた。

また、災害時の議員の心得として、行政と同じ方向性で応急対策を乗り越える必要性を説いた。

ある被災経験自治体職員の声も紹介され、

議員の要望が多く行政の対応能力を超えてしまふ事もあったという。この意見もふまえて、平常・災害時を問わず、議員としての行動や言葉を振り返ることができ良い研修となった。加えて、万が一に備えるガソリンは常に半

内堀 綾子

他に、太田雅幸弁護士による「議会におけるハラスメント」の講演もあった。



― 子育て世代の移住のために ―

北佐久郡議会議員研修会 令和4年8月23日

巴創業塾を主催する経営エッセイスト、藻谷ゆかり氏による講演会が軽井沢・立科・御代田町議会でオンライン開催された。

講師は、20年前に北御牧村に家族五人で『教育移住』をしており、今日的なテーマである標記の移住について熱く語った。

一般的には『子育て支援』が少子化対策として実施されているが、そんな単純なものでは無く、若い女性のUターン・イターンが人口の維持・増加促進に必要であると力説した。

見られ、全体の人口増に繋がっているという例示があった。

若い女性の数が、将来の人口を決めるとのことである。

若年女性の雇用、子育て世代の移住が肝要であるが、それには魅

力ある地方『一流の田舎の創造』がなされなければならぬと、熱弁された。

人口増の当町ではあるが、限界集落に住む私には、身に染みる講話となった。

茂木 重幸

実際、当町では20歳前半では転出超過であるが、20歳後半では転入の大幅増への転換が



オンライン講演会の様子

みんなの 声



信州御代田
龍の舞保存会
会長

あらい えいじ
新井 英仁さん



信州御代田
龍神太鼓保存会「鼓響」
会長

いちむら たくみ
市村 卓巳さん

皆さんこんにちは。龍の舞保存会、会長の新井です。今年、龍神まつりは関係者みでの開催となりましたが、行えたことに感謝、御礼申し上げます。開催にあたり、色々な不安はありましたが、多くの舞手が集まってくれました。特に、小・中学生の皆さん、大勢参加してくれてありがとうございました。真楽寺での舞、本当に楽しんでそこに舞っていて、見て

いるこちらまで楽しくなり、嬉しくなりました。お祭りを通じての交流、世代間でのコミュニケーションのふれあいなど、色々なツールとしてお祭りの必要性を感じています。みんなが楽しみにしているお祭りが、早く本来の形で開催できるように願っています。



当会は、結成37年目を迎えて、和太鼓の技術向上はもとより、人づくりを根幹とし、毎週火・木曜日、夜の練習をしています。年間を通して様々な機会での演奏の披露をさせて頂いておりませんが、やはり、町を代表する祭りである龍神まつりに参加することへは特別な思いがあり、この夏、3



年ぶりに龍神まつりを開催していただくことができ、喜びもひとしおです。今回は無観客での開催でしたが、来年こそは皆様に楽しんでいただけるようにならざることを願っております。我々は、町の文化である龍神まつりを守るためにも邁進してまいります。また、太鼓を打つ仲間も募集しています。龍神まつりや御代田町を、共に盛り上げましょう。

編集後記

暑い夏が終わり、急に秋らしい日が続き、コロナ感染者もだいぶ少なく、色々なイベントも少しずつ出来るようになってきました。

今回の議会だよりは決算のページ数を増やしてより見やすい議会だよりが出来たと思います。

今後も町民の声に耳を傾け読者目線で読みやすい広報誌を目指したいと思います。

山浦 久人

広報広聴常任委員会

- 委員長 市村千恵子
- 副委員長 茂木 重幸
- 委員 池田 るみ
- 荻原 謙一
- 内堀喜代志
- 山浦 久人
- 内堀 綾子
- 尾関 充紗